

3

May 2003

素顔の阿蘇を探す旅。

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。



大陸

ASO Continent

世界のカルデラ創造

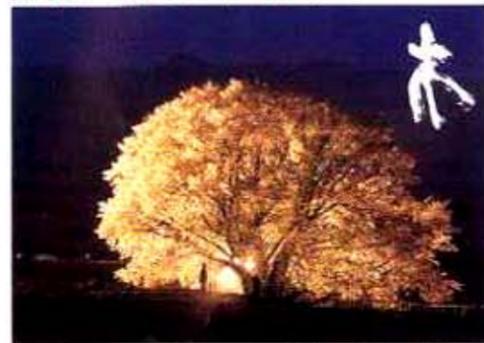
地球の鼓動が聞こえる

地の底の、さらに奥深くから響きくる地鳴り、轟をつく噴煙の臭い、立ち上る噴煙、吹き散る火山灰、荒々しく露出した黒褐色の山肌、阿蘇の火山のエネルギーは太古の時と変わらず変わらない。東西18キロメートル、南北25キロメートルもの大火山。『世界最大級のカルデラ』は阿蘇山の代名詞だ。九州の歴史の中で起きた巨大な火山は、30数万年の時を超えて今なお悠然と火を噴き続ける。



阿蘇五岳の阿蘇山(阿蘇山)

源流の森、巨木・神木



阿蘇山麓の巨木(阿蘇山麓)

ここに根ざし、人々を見守る

阿蘇の自然、私たちは足音を響かす、ごく当たり前にそこにある山々や木々を眺める。しかしそこには、厳しい自然と調う自然があり、人々がいる。木にもそれぞれ生きるべき場所があり、そこに生きる意味を持つ。人々と木の暮らしは、阿蘇の先人たちが、今を生きる阿蘇びとの知恵と努力によって守られていく。

九州の水瓶、源流の里



阿蘇山麓の水瓶(阿蘇山麓)

こんこんと湧き出づる生命の源

阿蘇を巡ると、あらゆる所に湧水があり、湧水のそばには神や仏が祭られた風景を見つける。そしてその周辺に広がる、水により育まれた美しい自然。絶えることなく湧き続ける水は、阿蘇という稀有な環境が生み出した「恵み」であり、その恵みを受けて暮らし人々にとっては「信仰」である。絶えることなく湧き続ける水には、誰大にして悠久なる阿蘇の生命が込められている。

千年の営みが紡ぐ草原



阿蘇山麓の草原(阿蘇山麓)

人と自然がお届けした風景

阿蘇北、東外輪山一帯に見渡す限りの広がる草原、約1万5千ヘクタールにわたるその雄大な眺めは阿蘇のもう一つの主役だ。春風にそよぐ野の花、夏の日に輝く緑のじょうたん、秋風に揺れる金色のすすき、冬に静寂が広がる冬枯れの山野。阿蘇の草原は四季折々の美しい風景を演出してくれる。しかし、この景色は人手の加わらない歴史的な自然ではなく、自然と人間の共生から生み出された文化的所産なのだ。

阿蘇が守る生きものたち



阿蘇山麓の花々(阿蘇山麓)

草原とともに生きる希少生物

阿蘇の自然とともに、生き続けるいのちたち。それらは、阿蘇の自然環境と、そこで暮らす人々の生活と、深い関わりを持っている。

『阿蘇遺産』発刊

阿蘇遺産

阿蘇遺産

SERIES 3

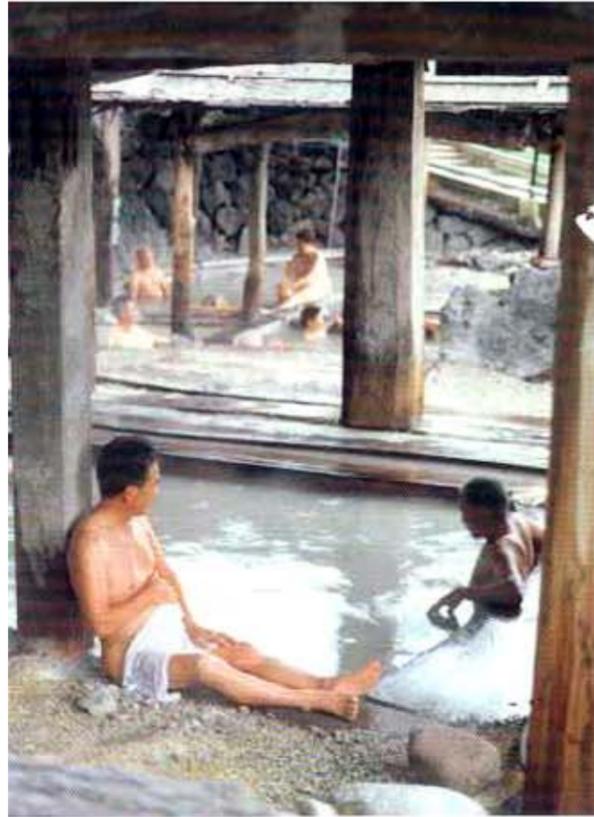
阿蘇は火山や温泉、草原ドライブのイメージが強い観光地である。しかし、太古の昔から先人達の暮らしによって守られてきた自然や文化は、その歴史とともに過去、現在、未来をつなぐ大切な遺産(宝物)だ。素顔の阿蘇がそこにはある。



阿蘇山麓の草原(阿蘇山麓)

阿蘇は無尽の遺産

阿蘇地域は阿蘇五岳とカルデラ地形に代表される自然と、その周辺の高原地帯により育まれた人間(ヒト)との関係の上に成り立っている。数万年前からこの地に住み始めた人びとは、豊かな自然の恵みを大地から受け取ることに感謝を抱きながら、同時に、ある日突然、火山の噴火によって営みができなくなるといった恐れを持っていた。この自然への感謝と火山への畏れは、もう一つの見えない存在(神)を強く意識させた。自然・火山・神という3つの存在と人との関わりは、悠久の時の刻みを経て今なお続いている。この阿蘇遺産は、阿蘇に住む人びとにとっては、ごく当たり前のものが登場していると思われるかもしれない。しかし、ごく当たり前のものが阿蘇らしさであり、阿蘇にとって大切なものとなる。どんなに時代が変わろうとも阿蘇がその魅力を失わないためには、「阿蘇に似合う暮らしの継承」が必要だ。命を育む阿蘇、豊穡の願いや山を鎮める祈りの阿蘇。古代から阿蘇は神祕に満ちたロマン溢れる地域なのである。いつもは何気ない風景が価値のある風景として意味づけされた時、それは遺産となる。そして、阿蘇の人びとは、今でも大切な遺産(宝物)に囲まれて生活している。



湯島温泉、すずめの湯(湯島庄)

火の国、温泉郷

「いやし」の湯けむりを愛した文人たち

県内屈指の温泉数を誇る阿蘇は「水のふるさと」であり、「いで湯の郷」でもある。温泉は古くから人々の体と心を癒し続け、その不思議な力から様々な伝説が生まれた。そして感受性が高い文人たちは、阿蘇の自然といふ場から様々な名作を創り出した。阿蘇の温泉は、現在、過去、未来へと続く人々の「癒し」の理想郷である。

風土が育む阿蘇の食



阿蘇の食卓に並ぶ食糧

阿蘇の保存食文化

冬の寒さが厳しく、夏でも涼しい阿蘇地方。長い冬を乗り切るため、昔から漬物をはじめ、多くの食材が保存食として工夫されてきた。阿蘇に住んだ先人たちの生活の知恵である。

Aso Heritage
阿蘇遺産
阿蘇遺産 発刊

暮らし遺産

和

暮らしの風景



とつあるこし田舎

今も息づく営みの記憶

阿蘇の外輪山は周回約130キロメートル。巨大なカルデラの中央部には、今も噴煙を上げる火山群が特有の景観を形作っている。豊かな自然環境を誇る阿蘇地方は、逆か旧石器時代から人々が居を構え、暮らしを営んできた土地でもあった。阿蘇の各地に、七つある神話や伝説、伝統行事、祭り、風土などは、人と自然が深くかかわりながら生きてきた阿蘇の物語を今も語り続けている。

阿蘇びとたちの物語



「お地さん」を守る阿蘇びと

悠久の大地とともに生きる

なだらか山々が折り重なるように連なる阿蘇の地形。ある町の人々は山々に囲まれ、またある村の人々は山の斜面に暮らす。いずれにしても高冷地の厳しい自然を切り開き、自然と共に生きてきた阿蘇先人の知恵を知らなければ、その奥深さに驚かされる。そして、自然や知恵、技、思いは、「人」なくしては語り継ぐことはできない。阿蘇先人が昔この地を切り開き、生きる覚悟を懸命に築いたように、今も生きる阿蘇人たちは先人の思いを胸に、近代化する阿蘇と向き合い懸命に生きている。

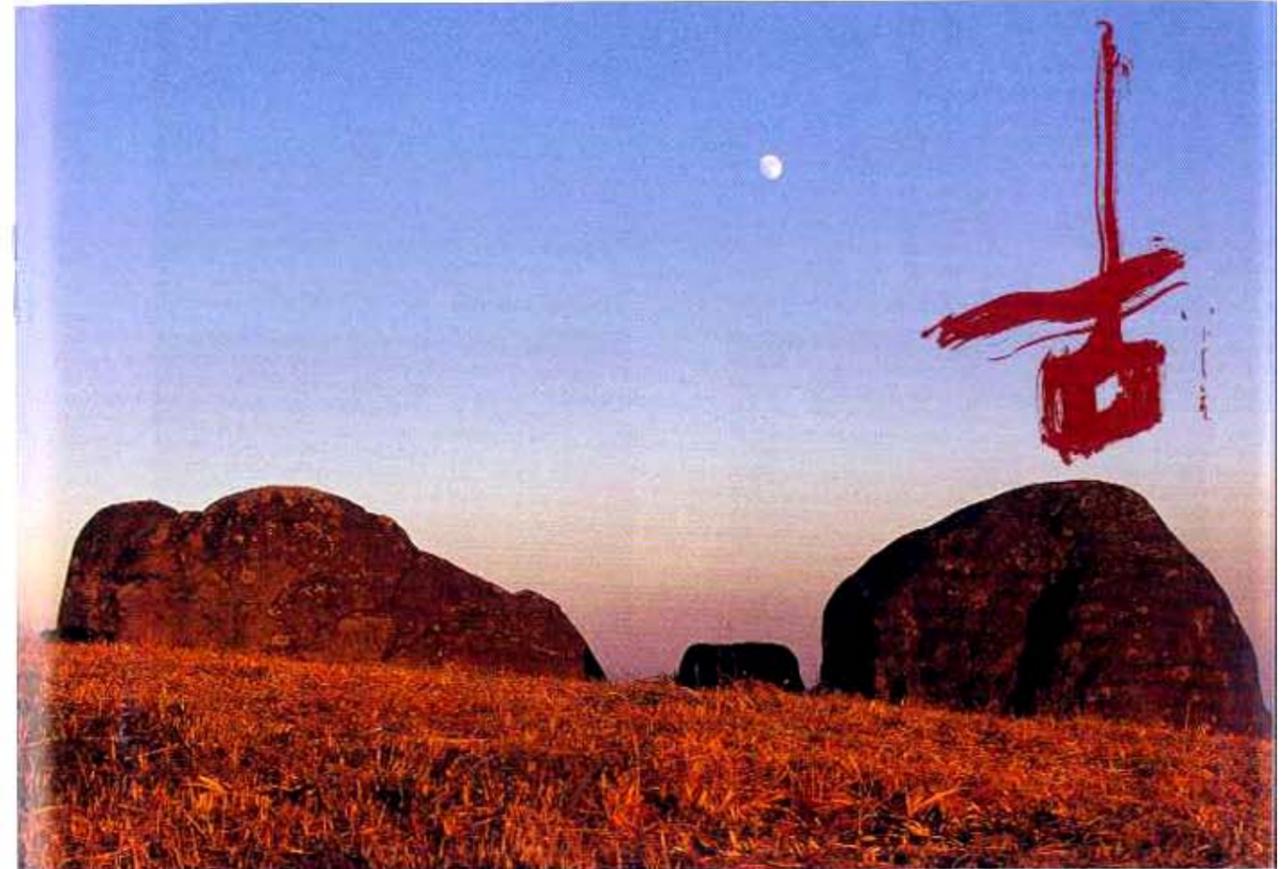
古代からのメッセージ

遙かなる阿蘇のロマン

阿蘇一雄大な自然、といわれる。同時に歴史もまた雄大であり、はるか2万年以上の昔から、阿蘇外輪山一帯に、人々の暮らしがあった。このことは、北外輪山の火山灰の中から見つかる多数の旧石器人の遺跡や遺物が私たちに教えてくれる。大噴火を目撃した石器人がいたともいわれる。当時、阿蘇谷に湖があったことはカルデラ内の堆積物が語っている。この光景は阿蘇開拓の祖、熊野龍命(たけのみこと)が阿蘇谷に大きな湖を築いたといふに説と重なる。

文化遺産

阿蘇外輪山の巨石群



自然の力、阿蘇修験道



真言宗の修験道

山に生き山を修めた霊者の血脈

人間の力が及ばない自然の姿を仏とし、その姿から知恵と信仰を得る人々が阿蘇にいた。その姿たちを山伏という。進歩と続く山伏たちの祈りは、修験道と呼ばれる謎多き信仰。山伏たちが阿蘇の自然を駆け巡った歴史は、今も山々に生きている。

神代を語る阿蘇神社



七五三祭、平安朝の行列(阿蘇神社)

蘇り生き続ける神々の姿

創建祭(紀元前?82)年、阿蘇の火山を背景に、阿蘇開拓の祖と言われるなど12の神々を祀り、阿蘇開拓に伴う多彩な神話伝説や歴史、神事を伝える阿蘇神社。神代の時代から阿蘇をしっかりと見守ってきた。だからこそ伝説の神威と、演じた中にも集る人の心を癒すゆくりがあるのだろう。

in エコツーリズム 阿蘇

エコツーリズムは、地域の自然や文化に敬意を払い、自然には負荷をかけない新しい旅のスタイルである。地域への訪問者は、生態系や地域文化に悪影響を及ぼすことなく、地域を理解し、鑑賞し、楽しむことができる。自然・歴史・文化を体験する旅行商品とそのエコツアーは、市民・住民レベルで地域間の情報を伝え合い、相互理解を図る観光産業としても期待されている。

ゆくり過ごす阿蘇への転換...

阿蘇地域は、熊本県の東部にあり九州のほぼ中央に位置し、面積約1200平方キロメートルで阿蘇くじゅう国立公園を擁し、12町村で構成された人口7万5千人が住む自然、歴史、文化、産業に恵まれた地域である。

阿蘇は、今でも活動する火山を持つ阿蘇五岳をはじめ、周回約130キロメートルの世界最大級のカルデラやそれを囲む外輪山、草原や森林などに抱かれた美しい地

域でもある。特に日本を代表する雄大な草原、各地に湧出する名水、豊かな温泉にも恵まれ、平成13年の熊本県観光統計調査では年間1820万人もの観光客が訪れる県内最大の観光地となっている。平成15年2月から、この阿蘇カルデラを世界遺産登録候補の獲得に向けて動き始めたところである。

また、地域の歴史は古く、今でも健甕龍命の神話やさまざまな伝説、2000年以上続く阿蘇神社を中心にした農耕祭事、米・野菜・畜産



を住とした多様な産業、さまざまな観光産業が地域の基幹産業となっている。

近年、日常とは異なった風物に触れ、その土地固有の自然や文化を楽しむ観光旅行は、生き甲斐を求め現代人にとって、もはや不可欠なものとなってきている。この40年余りは、その殆どが一方的な見守り型・マスツアー型の年間観光入込数をバロメーターとした観光に徹してきた。特に環境保全をテーマとした地域づくりが不可欠



となってきた現在の社会情勢を考えると、更に環境をテーマとした人材育成を進め、これからの参加体験型の環境学習をめざした、より良質な旅の形態、観光としての「エコツーリズム」を推進する必要がある。

そこで、「エコ・ロジック(環境)と「エコ・ノミー(経済)の調和をめざした地域振興としての「環境地域づくり」の一環として、阿蘇地域の自然と文化をテーマとし、従来の観光ではない参加体験型の新しい観光事業推進策として、全国エコツーリズム大会 in 阿蘇」の開催を、日本の代表的な自然と文化の宝庫であり、世界最大級のカルデラ地形を有する阿蘇のフィールドで展開する。

日本エコツーリズム協会(JES)によるエコツーリズムの定義

- ① 自然・歴史・文化など地域固有の資源を生かした観光を成立させること。
- ② 観光によってそれらの資源が損なわれることがないよう、適切な管理に基づく保護・保全を図ること。
- ③ 地域資源の健全な存続による地域経済への波及効果が実現することをねらいとし、資源の保護・観光の成立・地域振興の相乗をめざす観光の考え方である。それにより、旅行者に魅力的な地域資源とのふれあいの機会が持続的に提供され、地域の暮らしが安定し、資源が守られていくことを目的とする。

全国エコツーリズム大会 in 阿蘇 開催のお知らせ

①「環境地域づくり」の具体化した形である「エコツーリズム」の九州での展開と発展を推進に寄与すること。②阿蘇でのエコツーリズムの将来的可能性を探ること。③従来の観光ではない体験型観光としての「エコツーリズム」の一般への浸透と理解を図ること。④エコツーリズムの実践を通じた総合的な環境教育の普及および人材育成を図ること等を主要な目的とし、「全国エコツーリズム大会 in 阿蘇」を2003年10月31日(金)～11月2日(日)に開催する。基調講演会、シンポジウム、分科会討論と全体フォーラムに併せて阿蘇におけるエコツアーのテーマ別モデルツアー(フィールドワーク)を実施し、阿蘇が持っている本来の素晴らしき「素顔の阿蘇」を体験・発見してもらいたい。

問い合わせ先
阿蘇地域振興デザインセンター
TEL 0967-22-4801



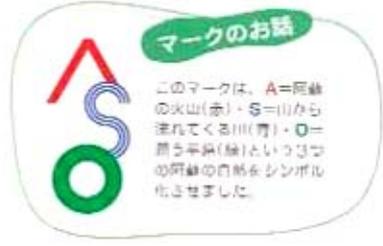
エコツーリズム in 阿蘇



2003年2月には、行政機関や県内外からのツーリズム関係者、地域の人々が出席し、「全国エコツーリズム大会 in 阿蘇」に向けて、エコツーリズムの勉強を行なう合同研修会が開催された。

ASO Design Center Information

(財)阿蘇地域振興デザインセンターは阿蘇郡12町村の地域づくり、観光振興、環境・景観保全、情報発信を行なっています。



仙酔峡つつじ祭り

仙酔峡一帯にある約5万本のミヤマキリシマがきれいに咲き誇ります。期間中は色々なイベントを開催します。



期日 ● 5月3日(土)～6月1日(日)

場所 ● 仙酔峡

お問い合わせ ● つつじ祭り実行委員会 TEL0967-22-3111

第3回全国たんぼ選手権

稲田の保全や都市住民との交流を深めるため、たんぼの中で“かけっこ”や“そり引き”や“儀はこび”など様々な競技を行います。



期日 ● 5月25日(日)

場所 ● 産山地区公民館隣のたんぼ

お問い合わせ ● 産山村企画観光課 TEL0967-25-2211

中江岩戸神楽定期公演

国選択無形文化財の「中江岩戸神楽」の定期公演。勇壮な神楽の舞と心躍る神楽独特のリズムを存分に楽しめます。その他、子ども神楽や特産品販売なども行われます。



期日 ● 4月～11月の毎月第1日曜日(10月除く)

場所 ● 神楽殿(波野村中江)

お問い合わせ ● 波野村企画観光課 TEL0967-24-2001

高森湧水トンネル七夕まつり

トンネルの中に巨大な七夕飾りが七十数基展示され、またウォーターバルもあり幻想的空間を創りだします。特産品・郷土料理の販売やヤマメつかみ取り大会・七夕書道展・七夕コンテストなどのイベントも開催します。



期日 ● 7月4日(金)～7日(月)

場所 ● 高森湧水トンネル公園

お問い合わせ ● 高森町企画観光課 TEL09676-2-1111

八坂神社祇園まつり

現在でも神楽が残っているのは、白水村では一関地区の八坂神社だけです。八坂神社のお祭りは年に2回あり、夏季大祭では神楽に神輿がついて廻り、秋季大祭は、すべての座を舞う夜渡神楽を奉納しています。



期日 ● 7月15日(火)

場所 ● 八坂神社

お問い合わせ ● 白水村企画観光課 TEL09676-2-9111

阿蘇カルデアラツリリズムは、阿蘇カルデア空間と外輪山地域を活用した自動車で通り過ぎるだけでは味わえない素顔の阿蘇に触れる旅のカタチです。阿蘇地域におけるグリーンツリリズム(農村を楽しむ旅)・タウンツリリズム(商店街を楽しむ旅)・エコツリリズム(自然を楽しむ旅)などの総称で循環バスや自転車、歩きながら、ゆっくり過す阿蘇の旅が出来ます。ガイドブックを聞いて、農村集落や町の通りでの阿蘇びとのおもてなしや自然案内人が誘うエコツアールなど自分の楽しみ方を見つけましょう。



2003のご案内
 「R九州のサイクルトレインや地域内循環バスは平成15年10月4日(土)から11月2日(日)の土日を実施(予定)。案内パンフレットは7月から配布。」

阿蘇遺産

『阿蘇遺産』のお申し込みについて

今号でご案内した『阿蘇遺産』をご希望の方は下記宛に電話、FAX、またはメールにてお申し込みください。

オールカラー80ページ、A4版、1500円(送料別)
 (送料:全国一律200円/1冊、3冊以上の場合は500円)

(株)マインドシェア九州 九州のムラ出版室
 TEL 092-841-3751
 FAX 092-841-3743
 メール: kyumura@mindshare-kyusyu.com